

令和6年度 専修学校における
分野別DX人材養成のための事例集
—DX関連教育事例・企業DX事例—



本事例集について

本事例集は、専修学校におけるDX関連教育の先進事例、及び、企業等におけるDXの事例を紹介するものです。DX関連教育を始めたい・充実させたいと考えている専修学校関係者の皆様に、教育内容や運営方法等を検討する際の参考にしていただければ幸いです。



DX(デジタル・トランスフォーメーション)とは

経済産業省の定義では、DXとは「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」とされています※1。

本事例集(特に学校事例)では、上記定義に必要な知識・技術等を修得するための「DX教育」だけでなく、より広く、DX教育の準備過程とも捉えられるIT教育やデジタル教育についてもDXスキルに含めた上で、「DX関連教育」の事例を紹介しています。

※1 (出所)経済産業省(2020)「デジタルガバナンス・コード 2.0」p.1(2025年2月28日閲覧)https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dgc/dgc2.pdf



1 学校法人国際総合学園 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校

音楽ビジネス科(2年制) / K-POPエンタテインメント科 K-POPビジネスコース(2年制)

P05

文化・教養分野

エンタテインメント業界・音楽業界をスタッフとして支える人材の育成を目指す。「SNSマーケティング」という授業において、業界で重要性を増しているSNSの活用スキルを修得する。

2 学校法人セムイ学園 東海歯科医療専門学校

歯科技工士科(2年制)

P06

医療分野

モノづくりとデジタル技術を使いこなし、幅広い分野で活躍できる歯科技工士の育成を目指す。歯科技工に関する基礎知識を修得後、プログラミング学習等を通してデジタル技術を用いた歯科技工に取り組む。

3 学校法人三幸学園 横浜こども専門学校

こども総合学科(3年制) プログラミングコース

P07

教育・社会福祉分野

これからの時代に対応できるパソコン・ITスキルを持った保育者の育成を目指す。掲示物や文書の作り方、園のホームページやSNS更新方法等、保育現場で必要とされるパソコン・ITスキルを学習する。



1 アグリマス株式会社

企業規模: ~100名 / 東京都

P8

医療分野

データに基づく予防介護実施のため、自治体での医療や介護に関するデータの分析、データに基づく保健事業実施の支援を手掛ける。データ分析ができる医療専門職の育成も行っており、社会全体としてデータに基づく予防介護がなされ、健康寿命延伸につながることを目指す。

2 保育園コスモス

企業規模: ~100名 / 神奈川県

P10

教育・社会福祉分野

保育施設向けの業務支援システムの導入により、保育業務以外の間接業務が効率化し、園児と向き合う時間が増加した。システム操作は容易なため特別なDXスキルを保育士に求めることはしておらず、保育園での勉強会などで操作方法を学んでいる。

3 認定こども園さくら

企業規模: 101名~300名 / 栃木県

P11

教育・社会福祉分野

保育士は保育業務に集中し間接業務を事務職員に集約するために、保育施設向けの業務支援システムを活用している。大規模な認定こども園である同園では、情報共有の効率化、紙資料の削減に大きな効果が出ており、保育士の残業の大幅な削減にもつながっている。

4 株式会社スマイル

企業規模: 301~1000名 / 神奈川県

P12

教育・社会福祉分野

介護に係る記録作成や保管の電子化のため、介護施設向けの業務支援システムを導入した。音声入力により記録を作成できるため、短時間かつ簡単に記録を作成できるようになった。記録保管の電子化により、保管場所の削減や過去資料の検索の容易化にもつながっている。

エンタテインメント業界で重要性を増す SNSの発信・活用力を身に付ける

学校法人国際総合学園 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
音楽ビジネス科(2年制) / K-POPエンタテインメント科 K-POPビジネスコース(2年制)
学校公式Webサイト | <https://show-net.jp/>

育成する人材像

エンタテインメント業界・音楽業界をスタッフとして支える人材。K-POPエンタテインメント科では、日本だけでなく韓国での活躍も目指す。

カリキュラムの特徴

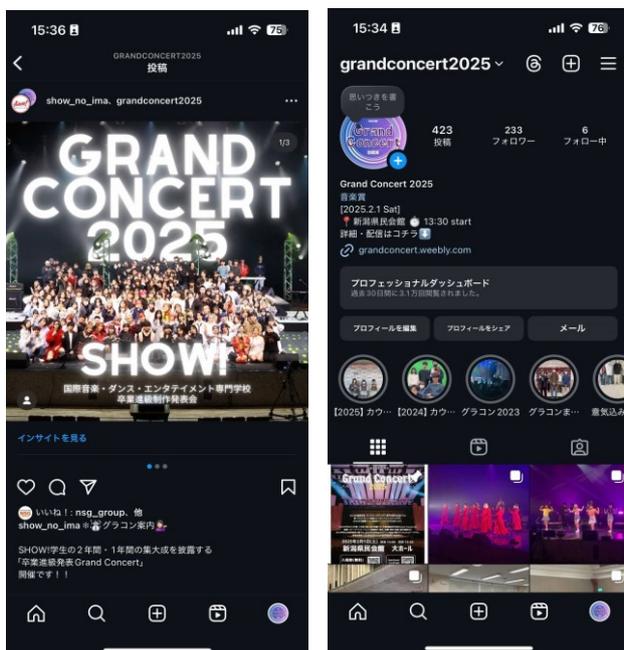
コンサートやライブの企画・開催・運営や、アーティストのマネジメント等について学ぶ。1年生が必修で学ぶ「SNSマーケティング」という授業において、業界で重要性を増しているSNSの活用スキルを修得。

▼「SNSマーケティング」授業スケジュールイメージ



教育活動の例	概要
SNSマーケティング 必修/1年生/34時間	マーケティング、SNS活用(アナリティクス、リテラシー、音楽エンタテインメント業界ならではのコンテンツやタイミング等)、映像制作を学び、学内ステージイベントに向けて実際にSNSアカウントの運用・発信を行う。

学生が投稿したSNSの例



素材の制作から発信、分析まで、SNS活用の流れを一通り実践

マーケティング、SNS活用、映像制作、の3テーマについて、**それぞれの実務家から指導をいただき、実践性のあるSNSマーケティングの力を身に付けている。**また、1年を前後期に分け、**学修と実践のサイクルを2回繰り返す**ことで、1回目の振り返り・学びを2回目に活かし、スキルの向上を目指している。



教諭

(出所)国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校より提供

歯科技工の知識とデジタル技工のスキルを持ち合わせ、 歯科業界の機械化・デジタル化に対応できる人材を育成

学校法人セムイ学園 東海歯科医療専門学校
歯科技工士科(2年制)

学校公式Webサイト | <https://www.tokai-med.ac.jp/dental/>

育成する人材像

モノづくりとデジタル技術を使いこなし、デジタル歯科技工、審美歯科、スポーツ歯科等、幅広い分野で活躍できる、付加価値のある歯科技工士

カリキュラムの特徴

講義とアナログでの制作を通して、歯科技工に関する基礎知識を修得する。その後、プログラミング学習等を通して機械の技術的制約や特徴を理解した上で、デジタル技術を用いた歯科技工に取り組む。

▼「デジタル歯科技工」スキル修得イメージ



教育活動の例	概要
情報工学と プログラミング ^{※1} 必修/1年生後期/40時間	CAD/CAM(※)を使いこなすために必要な情報工学とプログラミングの基礎を学ぶ。機械の特性、特徴を学び、製造の仕組みを理解することで、後の実習時に、CAD/CAMの特徴を理解し、使いこなせるようにする。
CAD/CAMシステム ^{※2} 必修/2年生前後期/全40時間	歯科用 CAD/CAM システムを理解する。CAD/CAM システムを用いた技工の技術の修得を目指し、実際の装置を操作し理解を深める。 歯科技工所を開設している教員が担当する。



※3

※口腔内模型をスキャンしてデータ化し、CAD/CAMシステムを用いて、コンピュータで歯のデザインを作成、作成したデザインを機械で切削・加工して修復物を製作する^{※3}

既存のカリキュラムを見直し、新たなニーズに対応する教育時間を確保

2年課程の中で、資格職として求められる指定のカリキュラムと現在求められているデジタルに関する教育を両立するため、**授業のあり方を見直した**。教員や業界、教育課程編成委員会等からの意見を参考にしながら、**口頭試問にかかる時間の削減や実習の工程の変更**を行ったが、**学生の学力に大きな影響がないことが確認できた**ため、そこにデジタルに関する教育を追加した。



教諭

※1 (出所)学校法人セムイ学園 東海歯科医療専門学校 歯科技工士科(1学年)シラバス https://www.tokai-med.ac.jp/assets/pdf/disclosure/2024_DT1_sirabasu.pdf (2025年2月12日閲覧)

※2 (出所)学校法人セムイ学園 東海歯科医療専門学校 歯科技工士科(2学年)シラバス https://www.tokai-med.ac.jp/assets/pdf/disclosure/2024_DT2_sirabasu.pdf (2025年2月12日閲覧)

※3 (出所)学校法人セムイ学園 東海歯科医療専門学校 歯科技工士科 <https://www.tokai-med.ac.jp/course/dental-technician/> (2025年2月12日閲覧)

これからの保育現場で必要となる、パソコン・ITスキルに強みを持った保育者の養成

学校法人三幸学園 横浜こども専門学校 こども総合学科(3年制)
プログラミングコース(※2025年度より「保育IT・パソコンコース」に名称変更予定)

学校公式Webサイト | <https://www.sanko.ac.jp/yokohama-child/>

※学校法人三幸学園東京こども専門学校(令和5年度事例)とグループ校のため、カリキュラム編成等はほぼ同様。

育成する人材像

これからの時代に対応できるパソコン・ITスキルを持った保育者。※1

カリキュラムの特徴

掲示物や文書の作り方、園のホームページやSNS更新方法等、保育現場で必要とされるパソコン・ITスキルを学習する。※1

▼こども総合学科 プログラミングコース スキル修得イメージ※2

1年次	2年次	3年次
保育の基礎の修得		強みの強化 (6コースより選択)
保育原理	子ども家庭福祉	デザイン実践 (こどもとプログラミング) (保育とビジネススキル) (キッズデジタルアート)(ITスキル実践) <small>(一部を掲載)</small>
保育者論	子どもの健康と安全	
教育原理	音楽表現・造形表現・身体表現	

教育活動の例	概要
ITスキル実践※3 選択必修/3年生/60時間	画像や図形を使った文書作成や、関数やグラフを使った表計算等を学び、パソコン技能検定2級への合格を目指す。



※1

ITスキルの向上も視野に、実習日誌のデジタル化を試行

実習日誌の記入の効率化とITスキルの向上を企図し、希望者を対象として、**実習日誌のデジタル化**を試行している。具体的には、Google スプレッドシートを活用して、日々の記録を学生が入力し、園が確認できるようにしている。**園からも、日誌のやりとりに係る負担が軽減されたとの声**が多く挙がっている。

自分自身でロボットを動かすプログラミング学修

実際にプログラミングでロボットを動かす授業を開講し、**学生にプログラミングの面白さを感じてもらおう**ようにしている。近年は子どもたちに対してプログラミング教育を行う園も増加しているため、**プログラミングの素養を養成することを重視**している。



教諭

※1 (出所)学校法人三幸学園横浜こども専門学校「学科・コース紹介 こども総合学科」(2025.2.14閲覧) <https://www.sanko.ac.jp/yokohama-child/course/all/programming/index.html>

※2 (出所)学校法人三幸学園横浜こども専門学校「こども総合学科 1年 シラバス」(2025.2.14閲覧) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-child/docs/all_01.pdf

学校法人三幸学園横浜こども専門学校「こども総合学科 2年 シラバス」(2025.2.14閲覧) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-child/docs/all_02.pdf

学校法人三幸学園横浜こども専門学校「こども総合学科 3年 シラバス」(2025.2.14閲覧) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-child/docs/all_03.pdf をもとに当社作成

※3 (出所)学校法人三幸学園横浜こども専門学校「こども総合学科 3年 シラバス」(2025.2.14閲覧) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-child/docs/all_03.pdf (p.71~72)

データに基づく予防介護で健康寿命の延伸に貢献 自治体職員への研修により、科学的な予防介護の展開を目指す

アグリマス株式会社

企業公式Webサイト | <https://agrimas.jp/>

事業概要	自治体向け医療費削減コンサルティング事業、 予防介護事業、健康づくり支援事業等		採用実績	新卒採用…2021年 1名、2023年 1名 (いずれも専門学校卒業生)	
企業規模	17名(2024年9月時点)	設立年	2005年	本社所在地	東京都

事業内容

同社では「薬に頼らない本物の健康を」をミッションに掲げ、地方自治体向け医療費・介護費削減コンサルティング事業、介護予防のための動画配信事業等を展開している。

業務におけるDXの活用

各市町村では、厚生労働省が推進する「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の方針を踏まえ、介護が必要な状態となる前の高齢者に対して運動、栄養指導など健康増進に向けた保健事業を効果的に実施し、健康寿命延伸を目指す取組が進められている。

この取組の推進にあたっては、各自治体の職員が国保データベース(KDB)に登録されている住民の医療機関受診状況、介護サービス利用状況、健診結果等に関するデータや、各自治体が独自で有するデータを分析し、健康寿命延伸につながる保健事業を立案することが求められる。医療専門職としての資格を持つ自治体職員がこうした役割を担うことが期待されているが、自治体職員にはデータの分析経験があまりない方も多く、取組が十分には進んでいない状況がある。

同社では、地方自治体に対して、KDBの各種データや自治体が独自で有するその他のデータを分析し、データ分析結果に基づき予防介護に効果的な保健事業の立案を支援するコンサルティング事業を実施している。これにより住民の健康寿命延伸のみならず、自治体における医療費・介護費の減少といった効果も期待できる。

DX人材の採用・育成方法

現在、同社では3名の社員が自治体向け医療費削減コンサルティング事業に従事し、データ分析のスキルと医療専門職としての経験・知識の両方を活かして活躍している。3名のうち、2名は理学療法士、1名は作業療法士である。

いずれの社員も入社時点ではデータ分析・活用に関する知見を持っていなかったが、自治体におけるデータ分析のニーズの高まりを踏まえ、理学療法士の資格を持つ社員が独学でデータ分析、プログラミングの手法を学び、データ分析に関する事業を立ち上げた。作業療法士の資格を持つ社員は、入社後に社内研修でデータ分析、プログラミングの手法を学び、データ分析や活用の手法を身に付けた。

また、全国の自治体でデータの分析・活用が行われるためには、各自治体の医療専門職がデータ分析・活用能力を身に付けることが不可欠である。そのため同社では、自治体職員に対してデータ分析・活用の方法、データ分析結果を活かした保健事業の作り方に関する研修を実施している。各自治体にデータを扱うことができる医療専門職が増えることで、社会全体として、健康寿命延伸に効果的な保健事業が作られることを同社では目指している。

卒業生の声



同社社員
(2021年 専門学校(理学療法学科)卒業)

医療に関する専門知識とデータ分析能力を活かし、新たな領域で活躍しています！

現在、自治体向けコンサルティング事業で、データ分析・活用に関するスキルを活かして、予防介護に関する仕事をしています。

専門学校在籍時は、他の多くの卒業生と同様に、卒業後は病院や介護施設で働くのだと思っていましたが、病院実習を機に疾患を有する方へのアプローチよりも**予防介護のアプローチに関心を持ち、アグリマス株式会社に入社しました。**

また、学生時代はデータ分析に関する知見はほとんどありませんでしたが、入社後にデータ分析の需要の大きさを知り、**独学でデータ分析の手法を身に付け、現在の業務に活用**しています。

理学療法士や作業療法士は、業務内容が変わらず安定している職業と思われることが多いですが、周囲の環境の変化に応じて、**自身のキャリアを考え続けること、新しい能力を身に付けることで、新しい領域で活躍**できることにもつながっていくと感じています。

専門学校卒業生に期待すること

専門学校卒業生には、DXに関する特定のスキルよりも、社会の変化に応じて自分自身のキャリアを見直し**新たなスキルを学び続ける姿勢や、新たなビジネスを考えるクリエイティビティ(創造性)**を求めています。

社会はデータを基に意思決定を行うデータ駆動型に変化しつつあります。そうした状況の下では、**データ分析の能力と、データの分析結果を基に事業戦略を構築する能力**が必要となります。



アグリマス株式会社
ご担当者

自治体職員への研修の様子



(出所)アグリマス株式会社より提供

自治体における健康づくりの取組の様子



(出所)アグリマス株式会社より提供

業務支援システムの活用により間接業務を効率化 園児と向き合う時間を増やし、保育の質向上を実現

保育園コスモス

公式Webサイト | <https://www.n-cosmos.com/>

事業概要	認可保育園の運営		採用実績	中途採用…2023年 1名	
企業規模	21名(2024年11月時点)	創業年	1995年	本社所在地	神奈川県

事業内容

保育園コスモスは1学年6名、6学年で36名定員の比較的小人数での保育を実施する認可保育園である。学年ごとに部屋は分かれておらず、全ての園児が1つの大きな部屋で過ごす形での保育を実施している。

業務におけるDXの活用

登園記録、保護者連絡、保育日誌の作成、保育士間での情報共有等様々な場面で、保育施設向けの業務支援ツールである「コドモン」を積極的に活用している。コドモンの導入により、保育以外の**間接業務が効率化され保育に充てる時間が増加**したこと、保護者に保育園の様子を伝えやすくなり**保護者の満足度向上**につながったこと、以前利用していた別のシステムと比較して操作が容易になり**新人保育士の育成期間短縮**につながったこと等の効果があった。また、日々の保育計画を立てる際に、年間保育計画や過去の活動内容を参照しやすいことに加えて、他のクラスの保育内容も考慮し保育計画を立てやすくなったこと(例:3歳児クラスが室内で活動する間、4歳時クラスは散歩する)は、同園に特徴的な効果と言える。

DX人材の採用・育成方法

コドモンの導入時には、職員が**これまでとは異なるやり方に前向きに取り組んでもらえるよう工夫**をこらした。**業務効率化につながる旨を職員に伝え**、また職員の一人がタブレットの利用方法を他の職員に教えるなど、**タブレットの活用をリード**してくれた。

iPadの操作ができれば問題なくコドモンを操作できるため、現状、保育士の採用要件にDXスキルやICTリテラシーは含めていない。保育士同士での日々の教え合いや、システムの使い方に関する職員勉強会で、システム操作に必要なスキルを職員に身に付けてもらっている。

▼コドモンを用いて作成した資料(保育ドキュメンテーション)を使い職員が話し合いをする様子



(出所)保育園コスモスより提供

専門学校卒業生に期待すること

事務仕事を効率化し保育士が子どもと向き合う時間や精神的ゆとりを持てるようにするため、ICTを活用する園が増えています。ICTの活用により記録や発信は容易になりますが、**伝えたいことを分かりやすく伝える技術や、情報発信の基本的なモラルやマナーが必要**となっています。そのため専門学校では、保育の専門知識に加えてそうした基礎の部分もしっかりと身に付けると、効果的にシステムを使えるようになると思います。



保育園コスモス
ご担当者

園児の未来を見据え、目的を持ったDX化を園全体で推進 保育の質向上と社員の業務負荷低減を実現

認定こども園さくら

企業公式Webサイト | <http://www.sakura-kids.jp/cn15/hoikuen-index.html>

事業概要	生後3ヶ月から未就学児を対象とした幼保連携型認定こども園の運営		採用実績	専門学校卒業者が約10名在籍	
企業規模	106名(事務職6名、給食担当15名、保育士85名)	創業年	1978年	本社所在地	栃木県

事業内容

同社では、生後3ヶ月から未就学児までを対象とした保育・教育サービスを提供している。認可定員は315名で、2024年11月現在で290名が利用している。

業務におけるDXの活用

同社では「ルクミー」を導入し、保育園の運営に必要な園児の登降園管理、午睡チェック、情報のデジタル共有、写真販売業務等を一元的に管理・運用している。これにより、園内の紙資料の削減や、情報共有・整理を効率化している。**登降園管理等の間接業務はできる限り事務職員に集約し、保育士は保育業務に集中してもらう体制とした。これにより保育士の残業は大きく減り、かつ子どもに向き合うことができる環境を実現した。**また、保護者と保育園の間の連携が強化され、コミュニケーションがスムーズになっている。具体的には、園児の登園や休暇連絡が簡単に行えるようになり、特に保護者にとっては重要な情報の迅速な伝達が可能となった。加えて紙資料の送付や押印が不要になったことで、双方にとって時間や労力の削減が実現され、より良い連携の基盤が整えられている。

DX人材の採用・育成方法

同社では、園児に様々な教育機会を提供することを目的に、SNSでの発信を積極的に行っている。採用もSNSを活用しており、人材募集に係る記事を発信すると、優秀な人材から応募があるため、現在は人材採用事業者を介さず採用ができています。また、専門的なスキルを持つ人材を採用する際は、当該のスキルを持つと思われる属性・ターゲットを絞りSNS広告を出すことで、募集をかけている。

専修学校卒業生に期待すること

現在の幼児・子どもは将来、デジタル技術を活用できることが求められる社会を生きていくことになります。子どもと接する保育士にも、専修学校の教育の中で、タブレットやスマートフォン等のデジタルデバイスの使い方や、利用に係るリテラシーを身に付けてほしいです。また当社では、事務職と保育職を分けて採用を行っていますが、**事務職では特にSNSでの発信を通じたマーケティング・ブランディングができる**と良いです。Word・Excel等の利用・操作ができることも求めています。



認定こども園
さくら
ご担当者

人材不足という介護業界全体の課題にDX化で向き合う 業務支援システムの導入で直接・間接業務の両方を効率化

株式会社スマイル

企業公式Webサイト | <https://smile-kaigo.net/>

事業概要	訪問入浴・居宅介護支援・通所サービス等の介護サービス全般		採用実績	新卒採用…2024年度：10名 (うち大学卒が1名、高校卒が9名)	
企業規模	750名 (2024年12月時点)	創業年	1994年	本社所在地	神奈川県

事業内容

東京都、神奈川県、静岡県を中心に、在宅・施設問わず、訪問入浴・居宅介護支援・通所サービス等の介護サービス全般の事業を展開。

業務におけるDXの活用

介護に係る記録の作成及び保管を電子化するため、「ケアカルテ」というシステムを導入している。本システム内の機能のうち主に「ハナスト」が業務効率化につながっている。「ハナスト」は、音声入力で記録の作成や、他の職員への連絡ができる機能である。本システム導入前は、手作業やPCで記録を作成する必要があったが、介護の現場では職員の両手がふさがっている状態(利用者を抱きかかえている等)が多く、介護業務と記録を同時に行うことがほぼ不可能であった。本システム導入後は音声入力機能により、**介護業務と並行して短時間かつ簡単に記録作成が可能**となった。また、データが「ケアカルテ」内に蓄積・保管されるようになり、紙での保管が不要となったことから、**保管場所が不要になり、かつ過去情報の参照も容易**となった。また、介護中の緊急事態の際の他職員への連絡が、**電話と比較して早く簡単に実施**できるようになった。

DX人材の採用・育成方法

現場での「ケアカルテ」の利活用を進めていくために、現場の方にツールの導入目的や重要性、使い方等を根気強くレクチャーを行った。高齢社員の方を中心に、タブレットやスマートフォン等のデバイスへの抵抗感が大きい方も一定数存在しており、本対応には苦勞をしているが、利活用に向けた社内説明を継続的に行うことで、理解・浸透を狙っている。

専修学校卒業生に期待すること

当社の介護現場では、**現在導入しているデジタル端末上のアプリケーション・ツールを業務で活用できる能力**を求めています。広く・浅くで良いので、基礎的なデジタルリテラシーを有してほしいです。またマネジメント職では、デジタルツールの提供事業者と、介護現場をつなぐ人材として、双方の立場を理解している方を求めています。**現場の運用に則した形で、全社へのツール利用の定着に向け、講師役を務めることができる素養**が身に付いていることも期待しています。



株式会社
スマイル
ご担当者

本事例集は、文部科学省委託事業として、株式会社三菱総合研究所が実施した令和6年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果物です。